

Title	著訳者紹介
Author(s)	聖学院キリスト教センター
Citation	キリスト教と諸学 : 論集, Volume29, 2015.3 : 1-5
URL	http://serve.seigakuin-univ.ac.jp/reps/modules/xoonips/detail.php?item_id=5512
Rights	



聖学院学術情報発信システム : SERVE

SEigakuin Repository for academic archiVE

著者紹介

(掲載順)

山口 博 やまぐち ひろし

1951年生まれ。1980年東京神学大学大学院神学研究科組織神学専攻博士前期課程修了。日本基督教団大宮教会伝道師（担任教師）、日本基督教団金沢教会伝道師（内灘伝道所専任担任教師）、日本基督教団内灘教会伝道師就任（主任・担任教師）。この間、英国グラスゴー大学大学院に学ぶ。酪農学園大学宗教主任、北海道文理科短期大学宗教主任（兼務）、酪農学園大学環境システム学部教授・酪農学園副学園長を経て、2007年より聖学院中学校高等学校校長、2012年より聖学院副院長・キリスト教センター所長・聖学院大学附属みどり幼稚園園長代行（兼務）。

【著書】『イエス伝——マルコ福音書によって』、“The ministry of the ministry,” *The Church and the Ordained Ministry*, April 1989, “Church of Scotland from the late 18th century until 1929, and its overseas missions,” *Scottish Church History*. ほか。

姜 尚中 カン・サンジュン

1950年熊本県熊本市生まれ。国際基督教大学準教授、東京大学大学院情報学環・学際情報学府教授、同大学現代韓国研究センター長などを経て、東京大学名誉教授、聖学院大学学長。専攻は政治学、政治思想史。

【著書】『マックス・ウェーバーと近代』、『オリエンタリズムの彼方へ』、『ナショナリズム』、『東北アジア共同の家をめざして』、『増補版日朝関係の克服』、『在日』、『姜尚中の政治学入門』、『ニッポン・サバイバル』、『愛国の作法』、『悩む力』、『リーダーは半歩前を歩け』、『あなたは誰？私はここにいる』、『母——オモニ』、『心』、『心の力』、『グローバル化の遠近法』（共著）、『ナショナリズムの克服』（共著）、『デモクラシーの冒険』（共著）、『戦争の世紀を超えて』（共著）、『大日本・満州帝国の遺産』（共著）、『在日一世の記憶』（編著）、ほか多数。

芳賀 力 はが・つとむ

1952年神奈川県生まれ。1979年東京神学大学博士課程前期課程修了、1983年ドイツ・ハイデルベルク大学神学部留学（神学博士）、1988年日本基督教団東村山教会主任担任教師就任、東京神学大学にてキリスト教組織神学を教える。2013年より同大学学長。

【著書】『自然、歴史そして神義論』、『救済の物語』、『物語る教会の神学』、『大い

なる物語の始まり』、『使徒的共同体』、『思索への小さな旅』、『洗礼から聖餐へ』、『歴史と伝承——続・物語る教会の神学』、『神学の小径Ⅰ——啓示への問い』、『神学の小径Ⅱ——神への問い』、『落ち穂ひろいの旅支度』、など。

【訳書】 アリスター・マクグラス『神学のよろこび』、アリスター・E.マクグラス『ジャン・カルヴァンの生涯 上・下』、C.E.ブラーテン/R.W.ジェンソン『聖書を取り戻す』、エレン・デイヴィス/リチャード・ヘイズ編『聖書を読む技法』、トーマス・F.トーランス『キリストの仲保』（共訳）、など。

高橋 義文 たかはし・よしぶみ

1943年、東京に生まれる。アンドリューズ大学大学院修士課程修了、東京神学大学大学院博士課程終了。神学博士（東京神学大学）。三育学院短期大学教授・学長、エモリー大学客員研究員、聖学院大学大学院教授を経て、現在、聖学院大学客員教授、聖学院大学総合研究所副所長。

【著訳書】『キリスト教を理解する』、『ラインホルド・ニーバーの歴史神学』、『ニーバーとリベラリズム』、『パウロ・ティリッヒ研究』（共著）、『教育の神学』（共著）、チャールズ・C・ブラウン『ニーバーとその時代』、ジョン・ウィッテ『自由と家族の法的基礎』（共監・共訳）、ラインホルド・ニーバー『ソーシャルワークを支える宗教の視点』（共訳）、ほか。

松本 祐子 まつもと・ゆうこ

早稲田大学第一文学部英文学専修卒業、日本女子大学大学院文学研究科英文学専攻博士課程後期満期退学。女子聖学院短期大学・英文科専任講師を経て、現在、聖学院大学人間福祉学部・児童学科教授。児童文学作家。2002年刊の『リユーンノールの庭』（小峰書店）で、第1回日本児童文学者協会・長編児童文学新人賞、第19回うつのみやこども賞を受賞。

【著書】『ブルーローズの謎』、『フェアリースノーの夢』、『8分音符のプレリュード』、『カメレオンを飼いたい!』、『ツン子ちゃん、おとぎの国へ行く』、『読書する女性たち——イギリス文学・文化論集』（共著）、『世界少年少女文学ファンタジー編』（共著）、『英語圏諸国の児童文学』（共著）、『英米児童文化55のキーワード』（共著）、ほか。

田部井 道子 たべい・みちこ

1948年、東京に生まれる。女子聖学院中学校高等学校卒業、獨協大学外国語学部英語学科卒業、同大学専攻科卒業。女子聖学院英語科専任教師として41年間、2011年より校長補佐、国際教育委員長を兼務し、2014年4月より女子聖学院中学

校高等学校第9代校長。

西之園 路子 にしのその・みちこ

1990年東京神学大学大学院博士課程前期修了(旧約学専攻)、東海教区総会において准允を受け、補教師(伝道師)となり、1992年、東海教区臨時総会に於いて按手を受け、正教師(牧師)となる。1990年4月、清水女子学院聖書科教師就任、1992年4月より、日本基督教団清水教会担任教師就任、清水女子学院聖書科非常勤講師兼務。1996年4月、日本基督教団蒲原教会主任担任教師就任、1996年4～5月、タイのバンコク日本語キリスト教会にて牧師として奉仕。2000年4月～2009年3月、静岡英和学院大学短期大学キリスト教学非常勤講師を兼務。2009年5月、アメリカのカリフォルニア州サンノゼにある、ウェスレー合同メソジスト教会牧師(日本基督教団宣教師)に就任。2013年4月に帰国し、日本基督教団滝野川教会担任教師に就任。

百武 真由美 ひゃくたけ・まゆみ

1984年生まれ。立教大学文学部卒業、東京神学大学神学部卒業。東京神学大学大学院神学研究科博士課程前期終了。聖望学園中学高等学校聖書科教諭を経て、現在、聖学院中学校高等学校副チャプレン、および日本基督教団滝野川教会協力伝道師。

窪寺 俊之 くぼてら・としゆき

1939年生まれ。博士(人間科学、大阪大学)。埼玉大学卒業(教育学部)、東京都立大学大学院(臨床心理学)に学ぶ。米国エモリー大学神学部卒(神学)、コロンビア神学大学大学院卒(牧会学)。米国、リッチモンド記念病院(ヴァージニア州)と淀川キリスト病院(大阪市)でチャプレン(病院付牧師)。イーストベイ・フリーメソジスト教会牧師(米国、サンフランシスコ市)。関西学院大学神学部教授を経て、現在、聖学院大学人間福祉学部教授(こども心理学科長)、聖学院大学大学院教授。日本臨床死生学会常任理事、スピリチュアルケア学会常任理事、日本神学会会員、日本福音主義神学会会員、実践神学会会員、日本ホスピス・緩和ケア研究振興財団評議員。

【著書】『スピリチュアルケア入門』、『スピリチュアルケア学序説』、『スピリチュアルケア学概説』、共著として『スピリチュアルケアを語る』、『続・スピリチュアルケアを語る』、『緩和医療学』、『死生論』、『系統看護学講座 別巻10ターミナルケア』、編著として『癒やしを求める魂の渇き』、『スピリチュアルペインに向き合う』、『スピリチュアルコミュニケーション』、『スピリチュ

アルケアの実現に向けて』、『愛に基づくスピリチュアルケア』、『希望を支える臨床生死観』ほか。

【訳書】シャロン・フィッシュ、ジュディス・シェリー『看護の中の宗教的ケア』（共訳）、D・D・ウィリアムズ『魂への配慮』、モーリス・ワイルズ『神学とは何か』、ルース・L・コップ『愛するものが死にゆくとき』（共訳）、ほか。

小林 茂之 こばやし・しげゆき

東京大学大学院総合文化研究科言語情報科学専攻博士課程博士論文提出資格取得、単位取得退学。2003年より聖学院大学人文学部日本文化学科所属。2012-13年度ケンブリッジ大学クレアホールコレッジ客員研究員として英国ケンブリッジに滞在。2013年より同コレッジ終身メンバー。歴史言語学・通時統語論・比較統語論専攻。主な研究テーマは、古英語・中英語における言語変化。初期英語のキリスト教文献を中心に、文献学にも研究を進めている。

松本 周 まつもと・しゅう

東京神学大学大学院修了。聖学院大学大学院博士後期課程修了、博士（学術）。現在、聖学院大学基礎総合教育部助教、日本基督教団教務教師・上尾使徒教会兼担牧師。

【著書】『スピリチュアルケアの実現に向けて』（共著、聖学院大学出版会、2013年）。

【論文】「神学と社会福祉——ラインホルド・ニーバーの視点から」（『キリスト教社会福祉学研究』37号）、「植村正久とP.T. フォーサイスの祈祷論」（『ピューリタニズム研究』6号）、「〈ニーバーの祈り〉とスピリチュアリティ——その日本における受容形態の考察」（『聖学院大学総合研究所紀要』53号）「揺れ動く地に立ちて、なお十字架は輝けり——東日本大震災の只中にある教会」（聖学院キリスト教センター『キリスト教と諸学』28巻）ほか。

森田 美千代 もりた・みちよ

1946年生まれ。国際基督教大学大学院修士課程教育研究科修了（教育学修士）。ドルー大学神学部 Master of Theological Studies 修了（神学修士）。ドルー大学大学院博士課程アメリカの宗教と文化専攻修了（Ph. D.）。現在、聖学院大学大学院客員教授。

【著書】*Horace Bushnell on Women in Nineteenth-Century America* (University Press of America)。『「キリスト教養育」と日本のキリスト教』（教文館）、『ブッシュネル「キリスト教養育」の成立過程研究』（日本キリスト教団出版局）、『人間の生と教育』（創言社）ほか。

【訳書】 ホーレス・ブッシュネル『キリスト教養育』（教文館）、『理想の大学』（創言社）ほか。

【論文】 “Horace Bushnell on Women in Family, Church, and Nation in Nineteenth Century Christian America.” Ann Arbor : University Microfilms International, 1999. 「ホーレス・ブッシュネル研究——『キリスト教養育』をめぐって——」（教授資格論文）ほか。

小室 廉太 こむろ・れんた

中央大学大学院文学研究科仏文学専攻修士課程修了。フランス・エクス＝マルセイユ第一大学 DEA（高等研究資格過程）修了、同大学博士課程満期退学。スイス政府給費生としてジュネーブ大学文芸学部 DEA 修了。研究分野は19世紀のダンディズムと現代フランス文学、とりわけ自伝フィクション（Autofiction）。

【論文】 「クリスティーヌ・アンゴと自伝フィクション」（成城大学フランス語フランス文化研究会『AZUR』第3号）、« Le dandysme dans le “Traité de la vie élégante” »（成城大学フランス語フランス文化研究会『AZUR』第4号）、「恥をかく——エルノーのエクリチュールから」（成城大学フランス語フランス文化研究会『AZUR』第6号）ほか。